



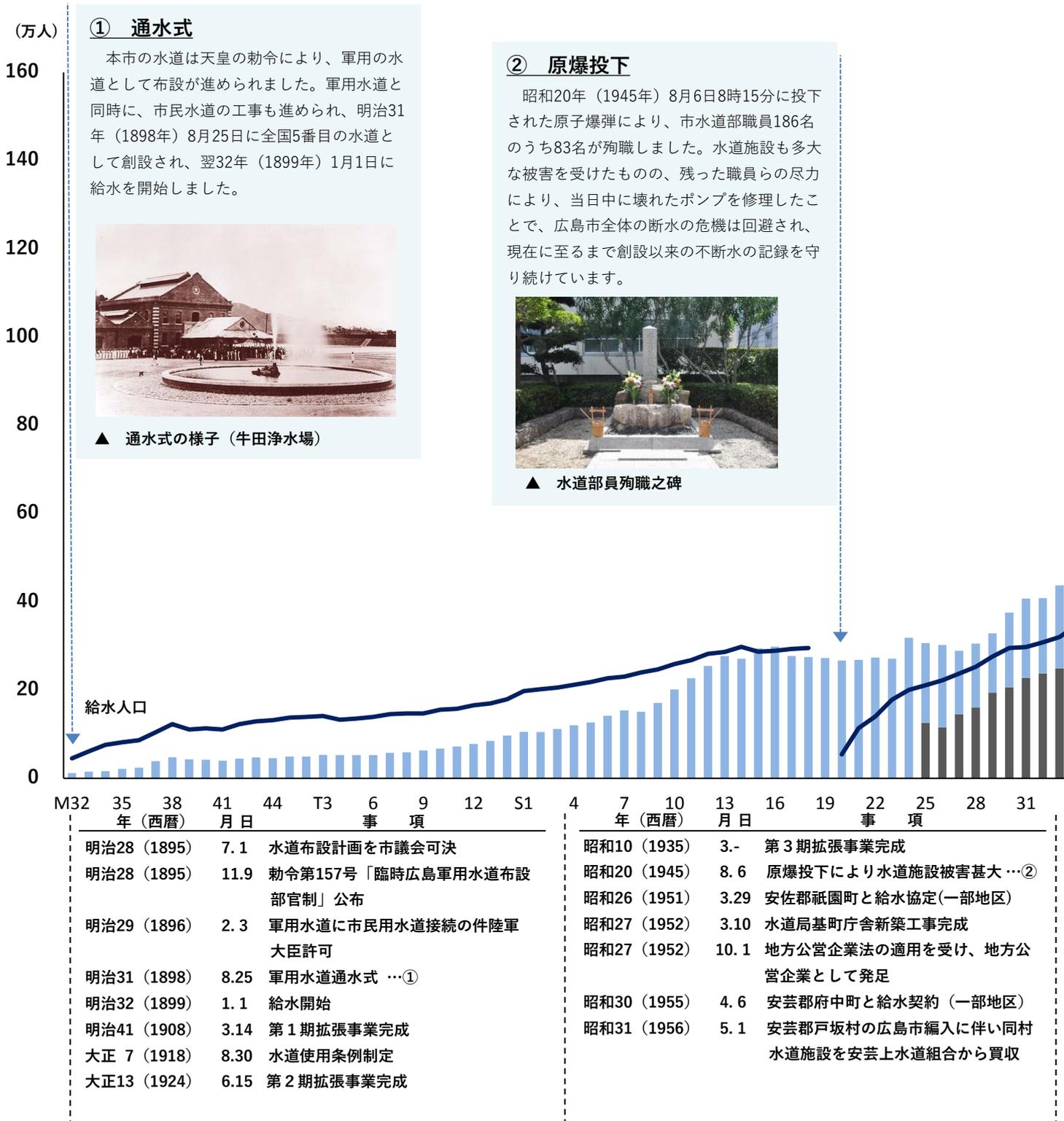
## 参考資料

- 1 年表・・・・・・・・・・47
- 2 業務状況・・・・・・・・・・49
- 3 大都市水道料金比較・・・51
- 4 『広島市水道ビジョン』の  
概要・・・・・・・・・・52

# 広島市水道事業の歴史 ～創設から今日まで～

本市の水道は明治31年（1898年）8月25日に創設され、以降、市勢の発展に伴い拡張工事を重ねてきました。

昭和20年（1945年）8月6日に世界最初の原子爆弾で壊滅的な被害を受けた際にも、一時も断水することなくこれを克服し、今日までお客さまが健康で文化的な生活ができるよう万全な給水体制を確保しながら、安定給水を継続しており、平成30年（2018年）に創設120周年を迎えます。



注 昭和19年の給水人口及び昭和24年以前の有収水量はデータがないため記載していません。

### ③ 高陽浄水場の完成

市域の拡大等に伴い、更なる水需要の増加が予想されたものの、市東部への給水を担う牛田浄水場は、その周辺部の市街化が進んで拡張の余地がありませんでした。

そのため、牛田浄水場の拡張に代わる対応策として、高陽浄水場の新設が決定され、昭和55年（1980年）7月1日に給水を開始しました。



▲ 完成当時の高陽浄水場

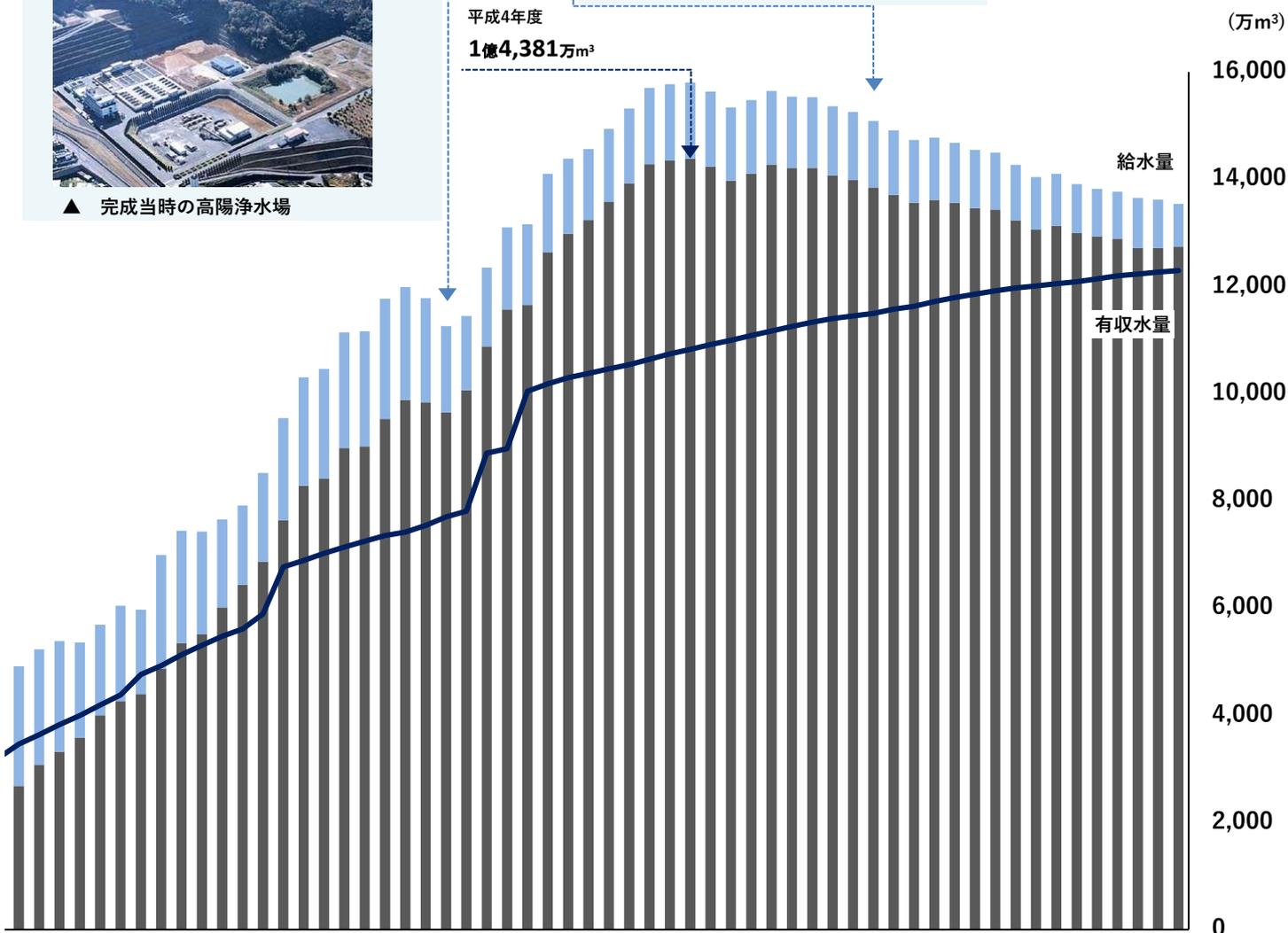
### ④ 温井ダムの完成

山県郡安芸太田町加計に太田川水系初の多目的ダムとして国が建設し、平成14年（2002年）3月に完成しました。

このダムの完成により、降雨量の少ない年度でも取水制限が回避できています。



▲ 温井ダム全景



年(西暦)	月日	事項
昭和36 (1961)	9.30	第4期拡張事業完成
昭和42 (1967)	12.1	似島へ給水開始
昭和44 (1969)	7.1	緑井浄水場で通水式
昭和45 (1970)	3.31	第5期拡張事業完成
昭和46 (1971)		周辺13町村と合併し、各町水道事業等を承継
昭和50 (1975)		
昭和55 (1980)	7.1	高陽浄水場で通水式…③
昭和56 (1981)	3.31	第6期拡張事業完成
昭和57 (1982)	6.1	安芸水道企業団との合併により、同水道事業を承継
昭和60 (1985)	3.20	佐伯郡五日市町の広島市編入に伴い同町水道事業を承継

年(西暦)	月日	事項
昭和62 (1987)	12.4	金輪島へ給水開始
平成6 (1994)	7.14	渇水対策本部設置
平成10 (1998)	4.1	水源涵養モデル事業に着手
平成14 (2002)	3.31	温井ダム完成…④
平成14 (2002)	3.31	第7期拡張事業(Ⅱ期)完成
平成17 (2005)	4.25	佐伯郡湯来町の広島市編入に伴い同町簡易水道等事業の管理運営を受任
平成28 (2016)	4.1	湯来地区簡易水道等事業を水道事業に統合

## 2 業務状況

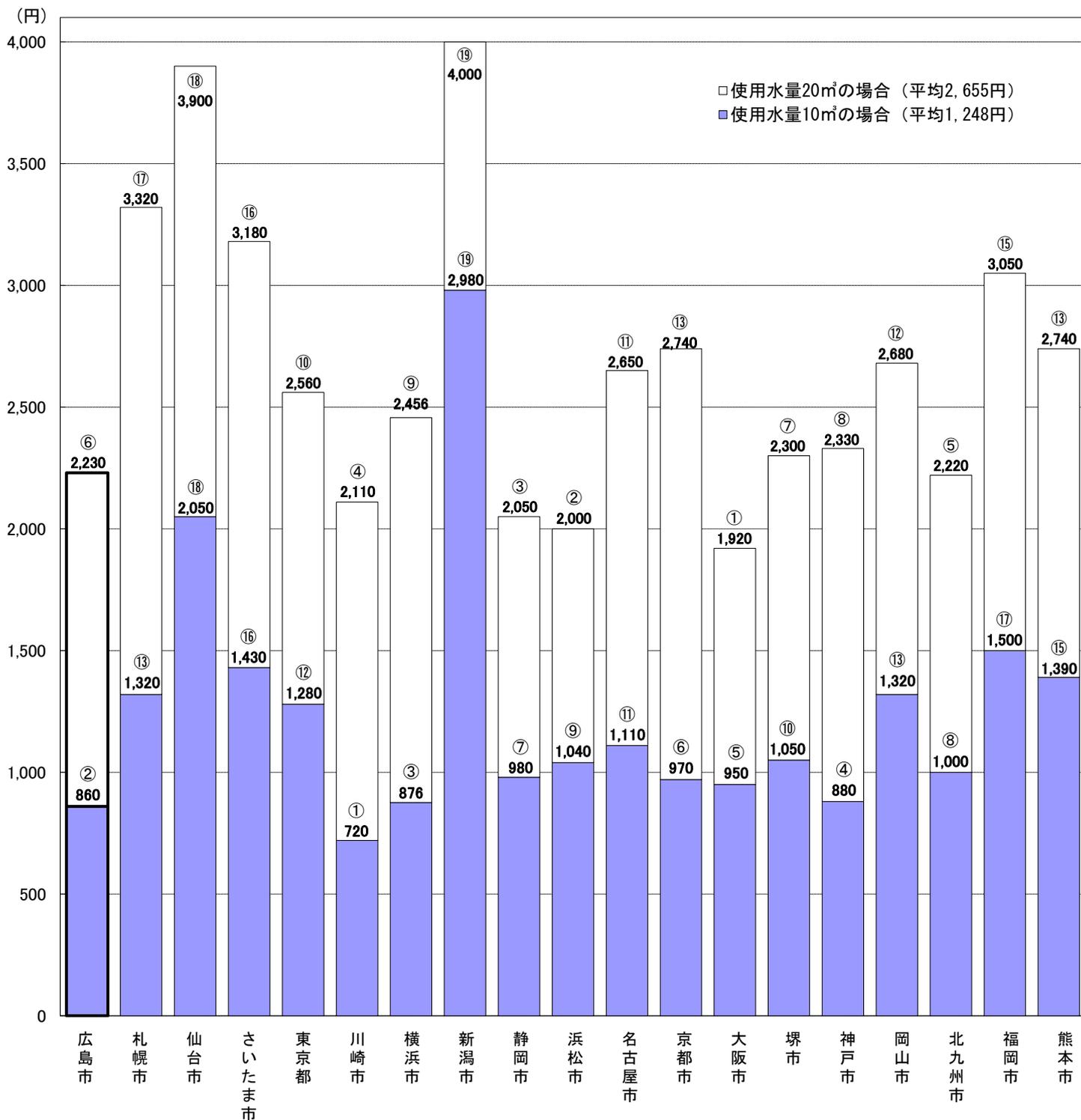
施設、業務、職員数、収益及び費用の推移

区分	単位	平成24年度（2012年度）			平成25年度（2013年度）		
		数値	指数	対前年度 伸び率	数値	指数	対前年度 伸び率
<b>施設</b>				(%)			(%)
給水区域内人口	(A) (人)	1,240,504	100.0	0.4	1,246,359	100.5	0.5
給水人口	(B) (人)	1,214,101	100.0	0.5	1,219,682	100.5	0.5
普及率	$\frac{(B)}{(A)} \times 100$ (%)	97.9	100.0	0.1	97.9	100.0	0.0
給水戸数	(戸)	548,316	100.0	0.8	554,555	101.1	1.1
年間取水量	(C) (千m <sup>3</sup> )	138,557	100.0	△ 0.7	138,060	99.6	△ 0.4
一日平均取水量	$\frac{(C)}{(\text{年間})}$ (m <sup>3</sup> )	379,608	100.0	△ 0.5	378,247	99.6	△ 0.4
導水管延長	(m)	23,060	100.0	0.0	24,728	107.2	7.2
送水管延長	(m)	44,688	100.0	0.1	46,129	103.2	3.2
配水管延長	(m)	4,502,052	100.0	0.5	4,583,891	101.8	1.8
一日給水能力	(m <sup>3</sup> )	628,100	100.0	0.0	629,826	100.3	0.3
<b>業務</b>							
年間給水量	(D) (千m <sup>3</sup> )	138,156	100.0	△ 0.7	137,666	99.6	△ 0.4
一日最大給水量	(m <sup>3</sup> )	427,001	100.0	1.6	418,397	98.0	△ 2.0
一日平均給水量	$\frac{(D)}{(\text{年間})}$ (m <sup>3</sup> )	378,510	100.0	△ 0.4	377,167	99.6	△ 0.4
年間有効水量	(E) (千m <sup>3</sup> )	133,432	100.0	△ 0.5	133,089	99.7	△ 0.3
年間有収水量	(F) (千m <sup>3</sup> )	129,298	100.0	△ 0.5	128,904	99.7	△ 0.3
一日平均有収水量	$\frac{(F)}{(\text{年間})}$ (m <sup>3</sup> )	354,241	100.0	△ 0.2	353,162	99.7	△ 0.3
一人一日平均給水量	$\frac{(D)}{(\text{年間}) \times (B)}$ (L)	312	100.0	△ 0.6	309	99.0	△ 1.0
有効率	$\frac{(E)}{(D)} \times 100$ (%)	96.6	100.0	0.2	96.7	100.1	0.1
有収率	$\frac{(F)}{(D)} \times 100$ (%)	93.6	100.0	0.2	93.6	100.0	0.0
<b>職員数</b>							
損益勘定	(G) (人)	622	100.0	0.5	620	99.7	△ 0.3
資本勘定	(H) (人)	96	100.0	0.0	96	100.0	0.0
合計	(G) + (H) (人)	718	100.0	0.4	716	99.7	△ 0.3
<b>収益・費用</b>							
事業収益	(I) (千円)	22,735,273	100.0	△ 0.5	23,076,520	101.5	1.5
事業費用	(J) (千円)	21,525,499	100.0	△ 0.7	21,751,209	101.0	1.0
純利益 (△純損失)	(I) - (J) (千円)	1,209,774	—	2.3	1,325,311	—	9.6

注 収益・費用には消費税及び地方消費税相当額を含みません。

平成26年度（2014年度）			平成27年度（2015年度）			平成28年度（2016年度）		
数值	指数	対前年度 伸び率	数值	指数	対前年度 伸び率	数值	指数	対前年度 伸び率
		(%)			(%)			(%)
1,248,523	100.6	0.2	1,251,520	100.9	0.2	1,253,940	101.1	0.2
1,222,788	100.7	0.3	1,226,403	101.0	0.3	1,229,392	101.3	0.2
97.9	100.0	0.0	98.0	100.1	0.1	98.0	100.1	0.0
559,421	102.0	0.9	565,621	103.2	1.1	570,869	104.1	0.9
137,184	99.0	△ 0.6	136,619	98.6	△ 0.4	135,770	98.0	△ 0.6
375,846	99.0	△ 0.6	373,277	98.3	△ 0.7	371,972	98.0	△ 0.3
24,165	104.8	△ 2.3	24,165	104.8	0.0	24,165	104.8	0.0
45,295	101.4	△ 1.8	45,276	101.3	△ 0.0	45,276	101.3	0.0
4,611,232	102.4	0.6	4,621,042	102.6	0.2	4,628,753	102.8	0.2
629,826	100.3	0.0	629,826	100.3	0.0	626,001	99.7	△ 0.6
136,513	98.8	△ 0.8	136,173	98.6	△ 0.2	135,378	98.0	△ 0.6
438,523	102.7	4.8	417,798	97.8	△ 4.7	408,240	95.6	△ 2.3
374,008	98.8	△ 0.8	372,058	98.3	△ 0.5	370,899	98.0	△ 0.3
131,856	98.8	△ 0.9	131,562	98.6	△ 0.2	130,969	98.2	△ 0.5
127,155	98.3	△ 1.4	127,162	98.3	0.0	127,414	98.5	0.2
348,371	98.3	△ 1.4	347,438	98.1	△ 0.3	349,080	98.5	0.5
306	98.1	△ 1.0	303	97.1	△ 1.0	302	96.8	△ 0.3
96.6	100.0	△ 0.1	96.6	100.0	0.0	96.7	100.1	0.1
93.2	99.6	△ 0.4	93.4	99.8	0.2	94.1	100.5	0.7
611	98.2	△ 1.5	611	98.2	0.0	610	98.1	△ 0.2
95	99.0	△ 1.0	95	99.0	0.0	96	100.0	1.1
706	98.3	△ 1.4	706	98.3	0.0	706	98.3	0.0
24,588,478	108.2	6.6	24,151,806	106.2	△ 1.8	24,293,454	106.9	0.6
28,911,888	134.3	32.9	21,856,527	101.5	△ 24.4	21,930,540	101.9	0.3
△ 4,323,410	—	△ 426.2	2,295,279	—	153.1	2,362,914	—	2.9

### 3 大都市水道料金比較 (平成29年(2017年)4月1日現在)



注1 政令指定都市（千葉市、相模原市を除く）及び東京都の19都市で比較しています。

注2 家事用1か月（口径20mm）の水道料金で比較しています。

注3 水道料金には消費税及び地方消費税相当額を含みません。

注4 水道料金に併記した○内の数値は、水道料金の安い順を示しています。

# 4 『広島市水道ビジョン』の概要

